

平成25年度「岐阜県ふるさと教育週間」実施報告書

学 校 名	揖斐川町立久瀬中学校		
実 施 期 間	平成25年10月27日(日)～11月29日(金)		
実 施 概 要	①久瀬小学校、久瀬中学校合同文化祭の公開(10月27日午前) ②久瀬地区文化祭への参加(10月27日午後) ③「地域瀬音学級」の実施(11月13日午後) ④PTAリサイクル活動への参加(11月17日午前) ⑤授業参観「生き方講話」の実施(11月27日午後) ⑥「いびがわマラソン」の応援・給水ボランティアへの参加(11月10日)		
実 施 内 容	学習・取組の分野 <input checked="" type="checkbox"/> 自然 <input type="checkbox"/> 歴史 <input checked="" type="checkbox"/> 文化 <input type="checkbox"/> 産業 <input checked="" type="checkbox"/> その他		
	公開の方法 <input checked="" type="checkbox"/> 公開授業 <input checked="" type="checkbox"/> 成果発表 <input checked="" type="checkbox"/> 交流活動 <input checked="" type="checkbox"/> 講演会等 <input checked="" type="checkbox"/> 地域行事等参加 <input type="checkbox"/> その他		
来 校 者 数	保護者	60人	計 210人
	地域関係者	150人	
実 施 状 況	<p><久瀬中文化祭・地区文化祭について></p> <ul style="list-style-type: none"> ・地区の文化祭(久瀬地区文化祭)と同日開催(午前は久瀬小学校・久瀬中学校合同文化祭、午後は地区文化祭)とし、文化祭を保護者や地域の方に公開した。 ・ステージ発表として小学生の学習発表・全校合唱の披露や中学生の各学年の劇、全校合唱を公開した。 ・地域の方の作品と共に小学生の図画工作や中学生の美術の作品、小中瀬音学級(手芸、ちぎり絵)の作品などを展示し、作品の鑑賞を行った。 ・午後の地区文化祭では、瀬音学級大正琴グループが演奏を披露したり、職員合唱を披露したりした。児童・生徒も参加し、地域の方々の発表を参観した。 <p><地域瀬音学級について></p> <ul style="list-style-type: none"> ・午後の2時間を充て、2つの地区に分かれ地域の方の指導のもと、小学生と共に食べ物作り(餅つき、ライスころっけ、簡単スープ)に進んで取り組んだ。 <p><PTAリサイクル活動について></p> <ul style="list-style-type: none"> ・保護者と共に各家庭を回り段ボールや新聞紙等を集めたり集積場所で集まってきた回収物を仕分けしたりする作業を行った。 <p><いびがわマラソンの応援・給水ボランティアについて></p> <ul style="list-style-type: none"> ・久瀬駐在所給水所において、コップにドリンクを入れる作業と走ってくるランナーにコップを手渡し仕事を行った。また、使い終わったペットボトルや紙コップ等を回収し後始末をする仕事を行った。1,3年は応援を行った。 ・応援では久瀬橋交差点や久瀬公民館前で、ランナーに拍手や声援等を送り激励をした。 <p><生き方講話について></p> <ul style="list-style-type: none"> ・Meets Vision 松岡慎也氏を講師に招き、講演を聞き、その後保護者と共に講話の内容について話し合いを行った。 		
成 果 及 び 課 題	<ul style="list-style-type: none"> ・地区文化祭も同じ日に開催しているため、保護者だけでなく多くの地域の方に学校の様子や生徒の様子を知っていただくことができた。また、アンケートの結果から、多くの方が生徒たちの発表を毎年楽しみにしてみえることが分かった。 ・文化祭の劇では、テーマを明確にして取り組み、少人数で工夫や協力をし、練習に練習を重ねた結果、保護者や地域の方々から「伝わるものがあり、すばらしかった。」という声をいただいた。昼食は地域の方のバザーで購入し、地域の方々と食べた。 ・いびがわマラソンでは、冷たい雨の中、一生懸命に応援を行い、ランナーの方々にも喜んでいただいた。ランナーの方から「ありがとう」という言葉をいただき、生徒たちも「応援してよかった」と感じている。 ・地域瀬音学級は年2回、6月と11月に実施しており、地域の方との交流が深まるとともに地域の教育力を生かすことができた。1回目は物作り、2回目は食べ物づくりに取り組んだ。 		